

令和6年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

経営情報システム分野

2級 経営情報システム（情報化企画）

試験問題

(21 ページ)

1. 試験時間 110 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和6年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートの詳しい書き方は最終ページに記載しています。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。
- (9) 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があつたら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教えること・指定されたもの以外のものを机上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

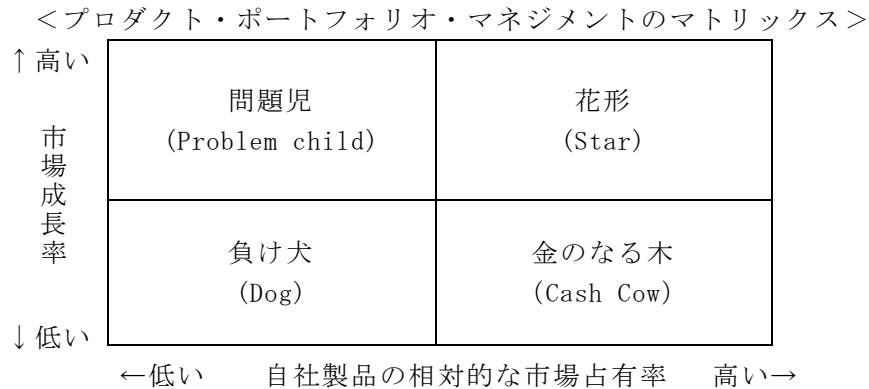
問題文中、次の法令は略称で記載されています。

・私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律 → 独占禁止法

問題 1 経営戦略に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．企業環境を分析するに際し、外部環境は、企業に与える影響が大きいため、外部環境を優先して分析し、内部環境とは別個に分析する必要がある。
- イ．リクルート政策は、人事・労務に関する事項であるが、経済情勢全般に関係するため、内部環境・外部環境の両方に属すると考える必要がある。
- ウ．経営理念は、経営者の想いや経営哲学を示すものであるため、経営計画に基づき職場ミーティングなどによって組織の末端まで浸透させることが必要である。
- エ．多くの事業分野を有する大企業の事業ドメインは、事業分野ごとに複数のドメインを有する場合が一般的である。
- オ．事業コンセプトを考える場合は、事業ドメインの定義と同様に対象とする「顧客軸（誰を市場・ターゲットとするか）」、「機能軸（何を提供するか）」、「技術軸（どのような独自能力で顧客を満足させるか）」を明確にすることが必要である。

問題2 ポストン・コンサルティング・グループが提唱したプロダクト・ポートフォリオ・マネジメントのマトリックスにおける一般的な説明として不適切なものは、次のうちどれか。



- ア. 「花形」に分類される製品
競合他社との競争が激しいことから、技術開発、販売促進などに投資を行う必要があるため、売上高が多い割には利益への貢献が少ない。
- イ. 「問題児」に分類される製品
技術開発投資、販売人材の投入などを積極的に展開することにより、シェアの拡大を図るか、又は市場から撤退する。
- ウ. 「金のなる木」に分類される製品
会社の経営の支柱として高い利益を得る製品であることから、広報宣伝、販売促進などの経営資源を重点的に配分する。
- エ. 「負け犬」に分類される製品
新たに経営資源を投入しても、投資コストの回収が望めないことから、早期に製造や販売を止めて、市場から撤退する。
- オ. 製品の位置づけの変化
問題児の製品の市場占有率を高めることにより、花形に育て上げることができる。
また、花形の製品は、市場成長と市場シェアの状況によって、「金のなる木」になる可能性がある。

問題3 内部環境分析を実施するフレームワークに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．マイケル・ポーターが提唱したファイブフォース分析は、内部環境を分析するフレームワークの代表的なものである。
- イ．S W O T分析は、企業のStrength（強み）、Weakness（弱み）、Opportunities（機会）、Threat（脅威）を分析することで、内部環境と外部環境の分析を同時に行うことができる。
- ウ．G A P分析は、現在の状態と望ましい将来の状態とのギャップを分析するフレームワークであり、ギャップを埋めるための戦略やアクションプランを立てることに役立つ。
- エ．V R I O分析は、経済的価値（Value）、希少性（Rarity）、模倣可能性（Imitability）、組織（Organization）の4つの観点から分析する手法である。
- オ．ストラテジーアナリシス（戦略分析）は、自社の戦略がどれだけうまく実装できているか、また、結果としてうまく実行されたかを評価するためのフレームワークである。

問題4 情報化戦略目標の設定に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．企業の情報化戦略目標は、経営戦略との整合性を踏まえた上で、必要な予算や設備・期間などを確保できるように目標を設定する必要がある。
- イ．自社の現状レベルの情報化成熟度を基に情報化目標値を設定する。
- ウ．全社の情報化目標を部門別に割り振り、その達成に向け各部門に具体的な情報化目標の検討を依頼する。
- エ．現行のビジネスプロセスを調査するとともに、新しいビジネスプロセスを定義し、そのギャップを埋めるために有効なビジネスプロセスの目標値を設定する。
- オ．自社のあるべき姿を達成するための業務プロセスを設計し、それに基づいた情報化目標値を設定する。

問題5 情報化戦略策定時に検討すべき事項に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．情報化戦略を策定する場合は、自社組織の情報化成熟度を踏まえた上で、業界他社の情報化成熟度レベルも考慮して策定する必要がある。
- イ．情報化戦略の策定には、競合他社のベストプラクティスを調査し、既に効果が実証された優れた手法をそのまま採用することが効率的な方法として推奨される。
- ウ．情報化戦略は、経営戦略実現のために策定されるが、必ずしも経営戦略に従属して策定されるものではなく、両者統合的に策定されることが一般的になってきている。
- エ．情報化戦略を策定する場合は、業界や競合他社の動向等を視野に入れながら、いかにすれば競争優位を獲得できるかに注力することが最大のポイントとなる。
- オ．情報化戦略の策定は、経営層と情報システム部門で進める。経営上の目標は経営層の意見を踏まえて、I Tシステムの導入を情報システム部門が主導する。

問題 6 情報倫理及びその関連法規に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 「電気通信事業法」は、電気通信事業を営む企業に適用される法律であり、電気通信事業に従事する従業員等に適用されるものではない。
- イ. 情報倫理とは、情報を扱う上での行動が社会全体に対し悪影響を及ぼさないように、より良い社会を形成しようとする考え方といえる。
- ウ. 社会の中で情報倫理を統制する仕組みとしては、法律がある。関係法律には、「著作権法」、「個人情報保護に関する法律」などがある。
- エ. 競合関係にある同業他社との間で行った情報交換は、「独占禁止法」に違反しない場合もある。
- オ. 情報倫理の要素には、知的所有権の尊重、プライバシーの尊重、公正な情報開示、危害を与えないことの4つがあり、セヴァーソンの4原則といわれる。

問題 7 企業におけるIT投資案件を評価するための「評価ポイント」と「評価項目」の関係性に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 企業戦略に対するIT投資を評価するため、評価ポイントを「企業戦略目標への貢献度」とし、評価項目を「企業収益の拡大」として設定した。
- イ. システム資産価値を評価するため、評価ポイントを「業務の改善度合い」とし、評価項目を「システムによって課題解決した業務数」として設定した。
- ウ. ITによる顧客価値向上を評価するため、評価ポイントを「顧客の課題解決」とし、評価項目を「顧客満足度の向上」として設定した。
- エ. 人材のITスキル向上を評価するため、評価ポイントを「ITリテラシーの向上」とし、評価項目を「ITを活用した問題解決数」として設定した。
- オ. ITによるビジネスパートナーとのシナジー効果を評価するため、評価ポイントを「パートナー満足度の向上」とし、評価項目を「パートナーのロイヤリティ（忠誠度）」として設定した。

問題 8 情報化投資に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 情報化投資を業務系投資と情報系投資に分類した場合、業務系投資は業務の効率化とコスト削減が主目的であるのに対し、情報系投資は情報活用力と業務管理能力を向上させることが主目的となる。
- イ. 情報化投資をリターン型投資とコスト型投資に分類した場合、コンサルティング会社に支払う次期システムのコンサルティング費用は、コスト型投資に分類される。
- ウ. 戦略的情報化投資の評価に当たっては、経営者を始めとする各関係部門間において、評価指標について、あらかじめ合意しておくことが重要となる。
- エ. 情報化投資の事後評価は、一般に情報システムの構築が完了し、システムが稼働した後の実績データと事前に設定したKPIとを比較する方法で行われる。
- オ. 情報化におけるインフラ投資は、情報化基盤に対する投資であり、セキュリティ確保に対する投資などが該当する。

問題9 ITリスクマネジメントの実施手順に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 「ITリスクの発見・特定」では、組織におけるリスクについて、自社の情報資源、業務の観点などからリストアップし、次に重要性の視点から分類を行って、詳細検討すべきリスクの絞り込みを行う。
- イ. 「ITリスクの算定・評価」では、リスクの発生確率とリスクの影響度を見積もり、組織として対応すべきリスクの優先度を設定する。影響度においては、必ずしも金額表示をしなくてもよく、また、直接的な影響だけでなく、間接的な影響、事後に想定される被害についても考慮する。
- ウ. 「リスク対策の策定・実施」では、リスクの具体的な対応策として、リスクを予防する事前対策及び発生時の被害を最小限にする緊急時対策を策定する。早期に通常の組織活動へ戻るための復旧対策としては、投資効果の判断があることから、別途策定する。
- エ. 「リスク対策の評価とフィードバック」では、対策の実施結果を評価し、必要に応じてリスクの再評価と対策の改善を実施する。
- オ. 「継続的なマネジメントサイクルの実施」では、内外環境の変化に伴うリスクの発生確率、変化するリスクの影響度、新たに発生するリスクに対して定期的に見直し、継続的なリスク管理を実施する。

問題10 情報化戦略の成果を確認するための指標や方法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ROI（投資利益率）では、情報化戦略投資に対してどれだけの利益が生まれたかを計算する。
- イ. KPI（重要業績評価指標）によって、設定した目標に対しての進捗を評価し、具体的な成果を確認する。
- ウ. 従業員の教育訓練によって、情報化戦略で策定された新システムの利用方法を確認する。
- エ. 利用者満足度調査によって、情報化戦略で策定された新しいシステムやプロセスがユーザーにどのように受け入れられているかを確認する。
- オ. プロジェクト管理ツールによって、情報化戦略で策定された新しいシステムの利用状況や効果を監視する。

問題11 業務システムのニーズ把握、整理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ニーズは利害関係者の要求事項であるため、発言する人の立場や役割によって相矛盾するものや重要度の判断基準が異なるものがニーズには含まれる。
- イ．ニーズには現行システムに対する不満や改善要望事項も含まれるので、ニーズ把握の時点で、それらが解決されるか否かの見通しを提示することが望ましい。
- ウ．業務運営側の潜在的なニーズを把握するために、実務担当者へのヒアリングがよく行われる。
- エ．ブレインストーミングは、ニーズの把握やそれに対する意見収集だけでなく、解決に向けた発想を促す手法として有効である。
- オ．収集されたニーズは、実現効果とともに必要な期間、コストなどを考慮してプライオリティを設定し、システム化計画に反映することが求められる。

問題12 以下の＜事例＞におけるタイムチャート分析の分析結果として、現時点での最も大きなボトルネックとなっている工程は、次のうちどれか。

＜事例＞

ある団体における会員受付～会員証発行に関する業務についてタイムチャート分析を行うための調査をしたところ、以下の結果となった。

●この団体では、平均で1日100人程度の入会希望者がおり、入会希望者に申込書を記入してもらって処理している。各工程は申込書を1枚ずつ受け渡して処理することができるが、実際の業務では、10枚程度の申込書をひとまとめにして次の工程に渡している。

●作業工程は

- (i) 申込み内容チェック
 - (ii) エラー申込書除外
 - (iii) 会員資格調査
 - (iv) データ入力
 - (v) 会員証作成
- の5段階に分類できる。

●各作業工程における入力伝票100枚当たりの現時点の処理時間は、

- (i) 申込み内容チェック : 200分
 - (ii) エラー申込書除外 : 100分
 - (iii) 会員資格調査 : 400分
 - (iv) データ入力 : 200分
 - (v) 会員証作成 : 300分
- である。

- ア. 申込み内容チェック
- イ. エラー申込書除外
- ウ. 会員資格調査
- エ. データ入力
- オ. 会員証作成

問題13 以下の＜事例＞に記載した作業手順表の内容について、クリティカルパスの合計所要日数として適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

作業名	所要日数	先行作業名
A	5 日	なし
B	2 日	なし
C	3 日	A
D	1 日	B
E	4 日	A、D
F	3 日	C、E

※注 作業は、先行作業が終了しなければ開始できない。

- ア. 10日
- イ. 11日
- ウ. 12日
- エ. 15日
- オ. 18日

問題14 業務マニュアル作成時の留意点に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 担当者用マニュアルだけでなく、管理者用マニュアルも、各担当者の業務を全体の流れから把握できるようにすること。
- イ. キーワード説明や索引集などの書き方を含め、記述フォーマットが標準化・統一化されていること。
- ウ. 通常業務の具体的な実施手順や操作方法と、非常時（緊急時）の対応とが1箇所にまとめられ網羅的に記述されていること。
- エ. 業務スキルが期待されるレベルに達していない人にとって、そのギャップを埋める内容になっていること。
- オ. 各担当者の業務とマニュアルとの関係性が明確であり、必要時に該当ページが参照しやすい構成になっていること。

問題15 業務改善や問題解決においては、様々な思考法を駆使して解決策を見い出すことが重要である。「既存の枠組みや常識にとらわれず、自由な発想を生み出すための思考法」と定義されるものは、次のうちどれか。

- ア. ラテラルシンキング
- イ. メタファー思考
- ウ. クリティカルシンキング
- エ. デザイン思考
- オ. ロジカルシンキング

問題16 業務改革目標の設定、達成度評価に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．複数部門にまたがる業務改革の場合は、到達地点としての具体的な目標を決めることが容易でないため、一部の関係者が反対する結論になることもある。
- イ．業務改革活動には長期間を要すること多いため、途中での進捗が計測できるよう、時間の経過と実績の大きさを比例させたマイルストーンを設定しておく。
- ウ．改革目標は経営方針と連動するものであるので、現実的には達成が非常に難しい項目があったとしても、経営層の意思を表わすものとして、妥協のないレベルの内容にする。
- エ．改革活動には長期の時間がかかり、時間経過の中で周囲の環境が変化することが多々あるが、改革目標は実行途中で見直すのではなく、当初設定した到達水準を維持すべきである。
- オ．改革目標の達成度評価では、評価を円滑に進めるために評価方法を事前に決めておく必要があるが、副次的効果や副作用が含まれると公平な評価が難しいので、それらが発生しないような項目に絞る。

問題17 ドキュメントの作成・管理ルールに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ドキュメントの読み手が限定される場合は、ページ数の増加を防ぐため、できるだけ記号や略語を用いて文字数が少なくなるようにする。
- イ．永久保存文書については、永久保存であることが誰にでも認識できるようになっていれば、更新や廃棄に関する手順の設定は不要である。
- ウ．のちに著作権が問題になる可能性があるため、業務で作成した文書には作成者の氏名は明記しない。
- エ．文書管理システムが導入されていない場合は、各自の責任で自分のPCにパスワードを設定して保管する。
- オ．締切り間際にならないと書かない執筆者が多いので、ドキュメント作成を依頼する際は、締切日時を通知しない方が効率的である。

問題18 以下の＜事例＞は、あるプロジェクトの進捗状況を表わしたガントチャートである。このガントチャートから読み取れる状況に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

作業名	予実	開始日		終了日		6月			7月			8月		
						10日	20日		10日	20日	30日	10日	20日	30日
作業A	予定	6月3日	月	6月14日	金									
	実績	6月3日	月	6月26日	水									
作業B	予定	6月3日	月	6月21日	金									
	実績	6月3日	月	6月26日	水									
作業C	予定	6月17日	月	7月26日	金									
	実績	6月27日	木	8月2日	金									
作業D	予定	7月1日	月	7月31日	水									
	実績	7月3日	水											
作業E	予定	8月1日	木	8月9日	金									
	実績													
作業F	予定	8月19日	月	8月30日	金									
	実績													

- ア. このガントチャートは、8月2日時点の状況を表したものである。
 イ. 作業Cの開始が予定よりも遅れたのは、作業Bの終了が予定よりも遅れたことに起因している。
 ウ. 作業Cの終了実績日は予定を超過しているが、作業そのものは予定よりも効率化されている可能性がある。
 エ. 作業Dの開始が予定よりも遅れたのは、作業Cの開始が予定よりも遅れたことに起因している。
 オ. 作業Fの終了日は、当初予定の終了日を超過することが確実である。

問題19 新QC7つ道具のひとつである「親和図法」に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 問題に関する複数の言語データを集め、関連性でグルーピングすることにより問題を明確化する手法である。
 イ. 問題とする特性と、それに影響を与えていると考えられる要因の因果関係を図で表す手法である。
 ウ. 問題点とそれに関係する要因を短文で表現し、それらの因果関係を図で表現する手法である。
 エ. 問題としている事象の中から対になる要素を決め、行と列に配置することで問題を多面的に整理・分析する手法である。
 オ. 問題に対して考えられる様々な結果を事前に予測して図示することで、不測事態が起きた際の代替案を明確にする手法である。

問題20 中長期の「システム化構想」を策定するに当たっての考慮点に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. システム化構想では、ブレインストーミングやシナリオライティングなどを駆使し、理想的なあるべき姿を目指す。費用については次段階のシステム化計画で見積もることになる。
- イ. システム化構想の策定においては、経営戦略・事業戦略といった上位の方針と、現場の問題点や対応策といった個々の課題を加味し、業務と情報システムの将来像を明確にした上で、「システム構想書」としてまとめ、経営者の承認を得る。
- ウ. 情報システムで競争優位に立つためには、IT人材の優劣が重要課題となる。システム化構想では、IT教育・研修の充実及び人材調達先の選定や作業場所の確保が重要となる。
- エ. 情報システム資源は、ハード、ソフト、ネットワークなどそれぞれが多様化されており、システム化構想では、どんなOSを使うか、通信プロトコルはどうするか、開発言語は何を使うかなどの決定が重要となる。
- オ. システム化構想の策定は、社内経験者が少ない場合に、外部の経験豊かなコンサルタントに構想書の作成を依頼し、経営者の判断で方向性を定めるトップダウンでの推進が望ましい。

問題21 システム設計プロセスに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. システムアーキテクチャ設計のプロセスでは、システム全体の構造（クライアント、サーバ、データベース、ネットワークなど）を設計する。利用技術の決定や、コンポーネントの連携を設計する。
- イ. 機能設計のプロセスでは、各機能がどのようにシステム上で実現されるかを定義する。システムを構成するプログラムやモジュールの詳細を設計する。モジュールの役割、入出力、内部のロジック、エラー処理の方法などが定義される。
- ウ. データ設計（論理設計）のプロセスでは、システムで使用されるデータ構造やデータベースの論理モデルを定義する。データベースのテーブルやフィールド及びデータの関連性（ER図）を設計する。
- エ. 外部インターフェース設計のプロセスでは、システムが他のシステムやサービスとどうやって連携するかを設計する。モジュールの役割、入出力、内部のロジック、エラー処理の方法などが定義される。
- オ. 非機能要件の設計プロセスでは、性能、セキュリティ、信頼性、拡張性などのシステムに対する非機能的な要件を考慮し、設計に反映する。トラフィックが増加した際にシステムがどのように対応するかなどを計画する。

問題22 開発プロジェクト計画の立案に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．開発プロジェクト計画を立案するに当たって、初めに、開発プロジェクトの最終目標を明確にし、その成果物がどのようなものになるかを定義する。これにより、関係者全員が同じゴールに向かうことができる。
- イ．開発プロジェクト全体の作業を、管理可能なレベルにまで細分化したWBS（Work Breakdown Structure）を作成することにより、プロジェクト全体の作業内容が明確になる。細分化レベル（粒度）は目的に応じて設定することが肝要である。
- ウ．システム開発のプロジェクト計画でマスタースケジュール、コスト計画、要員計画を策定するに当たって必要となる見積り要素は、開発規模と難易度をベースにして導き出される開発工数と期間である。
- エ．開発プロジェクト組織は、システム開発を担う社内情報システム部門及び外部委託先で構成し、ユーザー部門は、要件定義及び受入検査時のみに参画する編成が効率的であり、責任分担が明確になる。
- オ．リスク管理においては、予期せぬ事態により、損失や事故が発生する可能性をリスクとして捉え、リスクの特定と定量化とを行い、その対応策を作成し、リスクが顕在化した場合の方針を明確にしておくことが重要である。

問題23 システム開発における見積り手法に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ファンクションポイント（FP）法は、ソフトウェアが持つ機能数や複雑さによって重みづけした点数（FP）を積み上げる。合計したFP数を、生産性（単位工数当たりのFP数）で除算して開発工数を求める。
- イ．SLOC（source line of code）見積りは、プログラムのソースコードの行数を基に開発工数を見積もる方法である。実績の計測が正確となり、見積りとの差異分析がしやすく、行数の計測方法での誤差も出にくいため普及してきた。
- ウ．システム開発の生産性は、一般に公開されている調査報告を適用する。「ソフトウェア開発分析データ集」が情報処理推進機構（IPA）から、「ソフトウェアメトリックス調査」が日本情報システムユーザー協会（JUAS）から発行されている。
- エ．システム開発のプロジェクトにおける総費用は、外部委託費と開発設備費（開発用機械、開発用ソフトウェア、セキュアルームなど）を合わせたものになる。
- オ．見積りにおけるシステム開発に必要な工数は、要員数と期間が相互に密接な関係を持つ。よって、完成時期を早めたい場合は、投入要員を増やすことで、総工数を変えずに、納期を守ることができる。

問題24 システム開発の生産性に影響を与える要因に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. アジャイル開発やウォーターフォール開発といった開発プロセスの選定が、生産性に大きな影響を及ぼす。ウォーターフォール開発は、短期間でリリースしながら改良を行うことで、生産性を高めることができる。
- イ. 適切なプログラミング言語やフレームワークの選定は、開発効率の向上に直結する。逆に超高速開発ツールや自動化技術の導入は、技術習得に時間がかかり生産性向上に寄与しない。
- ウ. 開発者のスキルや経験は、作業速度やコードの品質に影響する。ただ、熟練した開発者ばかりで構成されたチームは、適材適所の配置ができず生産性が低くなる傾向がある。
- エ. チーム内やステークホルダーとの円滑なコミュニケーションが、ミスや無駄を減らし、生産性を向上させる。ただし、ツールを活用したコミュニケーションに限り、Face to Faceのコミュニケーションは避ける必要がある。
- オ. プロジェクトの進捗を可視化し、適切なスケジュール管理やタスクの分担を行うことで、リソースの無駄を最小限に抑えることができる。プロジェクト管理ツールを利用することも有効である。

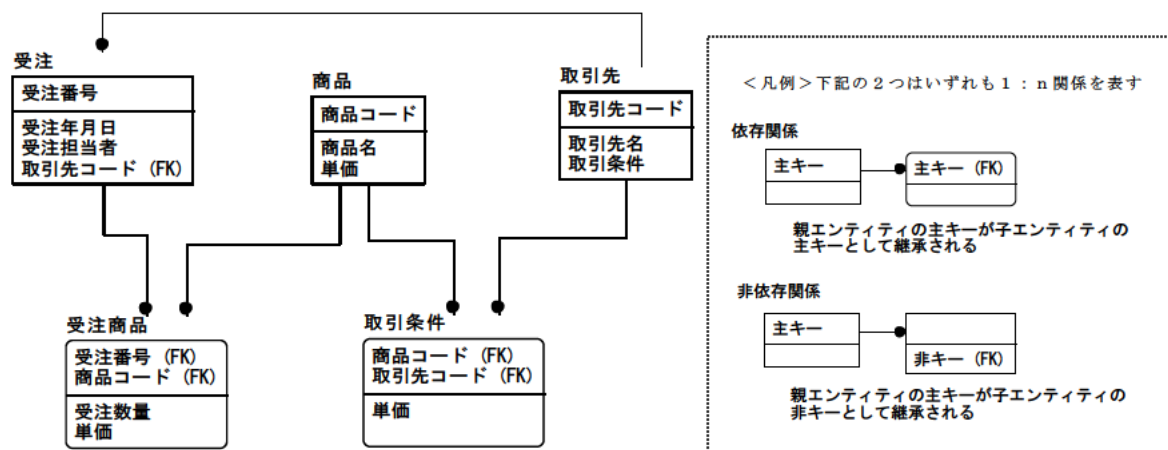
問題25 出力設計における考慮点に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 出力の目的、内容などを定義し、出力帳票のレイアウトなどの詳細な設計を行う。
- イ. 出力設計で決めるのは、主に出力項目、出力媒体、出力タイミング、出力頻度である。
- ウ. 納品書、期末在庫一覧表などの出力帳票を設計するときには、ユーザーの使用状況を調査（ヒアリング）して使い勝手を考えなければならない。
- エ. 出力画面は、ユーザーがそれ以降の意思決定につながる情報を得る手助けとなるよう設計する。
- オ. 出力内容の見やすさと分かりやすさを考えて、業務システムごとに文字の大きさや太さは統一する。

問題26 ヒューマンエラー削減のための考慮点に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 予測させる （やりたいことを指定してから、やりたい内容を登録する）
- イ. わかりやすくする （わかりやすいレイアウトやアイコンのデザインを採用する）
- ウ. やりやすくする （簡単に修正・やり直しができるようにする）
- エ. できるようにする （操作に制限を設けずに、操作ミスを防ぐ）
- オ. 気づかせる （エラー発生時にメッセージを理解しやすいようにする）

問題27 下図のデータモデルは、企業の販売管理業務を表したものである。以下の記述において、データモデルから読み取れる内容として不適切なものは、次のうちどれか。



- ア. 商品ごとに単価が設定されている。
- イ. 受注後に商品単価が変わっても、受注時点の単価は変更前の値である。
- ウ. 同じ商品でも、受注ごとに単価が変わる場合がある。
- エ. 取引先ごとに単価が異なる商品がある。
- オ. 受注担当者が、受注時に単価を設定している。

問題28 プログラム言語に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. アセンブリ言語は、命令などの仕様が機械語とほぼ一対一で対応し、CPUの機能を直接的に効率よく動かすことができる。
- イ. COBOLは、事務処理向けに開発され、英語に近い文章で作成できるプログラム言語であるが、オブジェクト指向開発には利用できない。
- ウ. C言語は、オペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェア、ファームウェア、デバイスドライバ開発や機械制御など適応する分野は多岐にわたる。
- エ. Javaは、特定のOSやマイクロプロセッサに依存することなく動作するので、エンタープライズ系システムや組み込み系システムでも多く利用されているオブジェクト指向型の言語である。
- オ. Rubyは、日本で発案・開発されたオープンソース型のプログラム言語であり、国際規格となっている。

問題29 アジャイル開発手法に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．要求定義からテストまで、増減が少ない一定の要員数で賄うことができることから、ウォーターフォール型に比べて、工数ベースの見積りが正確に行える。
- イ．ユーザー要求や設計要件が全て口頭又はメモで指示されることから、ビジネスモデリングを実施する必要はない。
- ウ．開発プロジェクトの要員スキルでは、ユーザーとの折衝能力よりも、プログラミング能力の方が要求される。
- エ．手法のひとつとしてペアプログラミングがあるが、通常のプログラミングに比べて、2倍の工数が必要となる。
- オ．外部に委託する場合には、検証サイクル、検収方法、最終納期などの作業条件を明確にすることにより、契約上のトラブルを避けることができる。

問題30 システム開発におけるプロジェクト計画書に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．プロジェクト計画書に記述する品質目標は、様々なステークホルダーと共有するため、定性的な目標にすることが必要である。
- イ．プロジェクト計画書で規定する変更管理とは、システム稼働後の不具合や変更要求による修正手順を定めるものである。
- ウ．プロジェクト計画書に記述するリスク管理計画とは、実際に発生した問題や課題を解決するための管理方法や手順をあらかじめ定めるものである。
- エ．プロジェクト計画書に定めるスケジュール管理では、プロジェクトの進捗遅れをできるだけ早期に発見できるように、詳細かつ精緻な進捗報告書の様式とその内容や手順を規定する。
- オ．プロジェクトにおける目的や目標は、プロジェクトの概要として、プロジェクト計画書の冒頭に記述しておくことが必要である。

問題31 I T資源のライフサイクルに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．I T資源のライフサイクルは、I T資源の企画・計画段階から調達・開発、導入・移行、運用・保守までの全期間を包含的に管理するプロセスである。
- イ．I T資源のライフサイクルを適切に管理することで、コスト削減、業務の効率向上、情報漏えいなどのリスク軽減に留まらず、環境負荷が低減できる。
- ウ．I T資源のライフサイクル管理においては、計画段階で資源の導入目的、要件予算、リスクなどを明確に定義することが最も重要な要素である。
- エ．調達段階では、納期遅延、品質問題が発生する可能性があるため、リスクを最小限に抑えるための条項や、納期や品質に関する明確な基準を契約書に盛り込む。
- オ．ライフサイクルの各段階は、それぞれ異なる評価軸を用いて評価されるが、定量的評価だけではなく、数値化が難しい指標を用いた定性的評価も重要である。

問題32 情報化資源の調達活動の基本的なアプローチに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．情報化企画書の内容に沿った、最適な資源を調達することが必須であるため、導入効果とリスク、更に実現性や現状との整合性、移植性などを総合的に検討すべきである。
- イ．調達活動を開始する前に、調達目標、範囲及び調達要件を明確にした文書を作成するが、要求事項に将来のニーズを記述するのは、それを踏まえて新しい I T 技術の選択を行うためである。
- ウ．ベンダーからの提案を評価するための客観的な基準を事前に定め、その評価基準に従って一貫性のある評価を行うため、評価基準は曖昧さをなくし、可能な限り定量的な評価ができるようにする。
- エ．調達する情報化資源を利用する際の条件についてベンダーと十分な交渉を行い、合意した内容を契約という形で明文化する。契約書には、発注者とベンダーの役割と責任が明確に記述されているか、法的側面からのレビューも必要である。
- オ．公正でオープンな調達活動を行うため、全ての候補先に同じ R F P (Request For Proposal) 情報を伝え、再提案を求める際にも平等な機会を提供する。また、選定から漏れたベンダーには理由を付した結果を迅速に報告することも必要である。

問題33 I T 資源の調達に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．業務の全てを管理も含め包括的に 1 社に委託することをシングルソーシングといい、業務をいくつかに分け、複数の委託先に委託することをマルチソーシングという。
- イ．システム開発を外部に委託する場合、工程全体について基本契約を締結し、工程ごとに個別契約を締結することを多段階契約という。
- ウ．リース期間終了時のリース物件の価値を見込み、物件価額から控除した上でリース料を算出する取引をファイナンスリースという。
- エ．選定した複数の業者から見積りを取得し、最も調達目的に合致するものを契約交渉相手として選定する契約方法を随意契約方式という。
- オ．価格及び技術力や企画内容の創意工夫などの条件が、発注者にとって最も有利な提案をした者を契約先として決定する方法を総合評価方式という。

問題34 調達仕様書に記載される機能と前提条件などの仕様を基に算出される予定価格に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．予定価格の算出方法は、組織や案件により様々であるが、コストの構成要素はその違いにより異なることなく同じである。
- イ．運用・保守の業務委託では、調達仕様書に記載された委託する作業項目の工数について、公開されている単価を基に予定価格を算出する。
- ウ．ITサービスの利用では、調達仕様書の要求する当該サービスメニューにかかる費用を積算し、付随するオプションサービスにかかる費用は予定価格に含めない。
- エ．予定価格算出の目的のひとつは、予定価格算出の過程で調達仕様書の曖昧さを排除し、見積りや提案内容の質や精度の向上につなげることである。
- オ．調達仕様書に記載の要件や前提条件が、作業の進捗により内容が具体化されたことでリスク内容は変化するので、リスク対策にかかる費用は予定価格に含めない。

問題35 契約に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．契約において、件名、案件内容、金額、期間などのほか、契約の履行を行うために必要な事項を明確にすべく、仕様書やSLAを添付することで、契約と一体のものとして効力を持たせることができる。
- イ．委託先に再委託を認める場合は、再委託先へのセキュリティ対策と個人情報の扱いについて委託先への要求と同等の内容が担保され、継続的に状況を確認し監査に協力することを契約書に明記する。
- ウ．請負契約の場合、通常は、成果物の完成に対し報酬を支払うが、委託先の負担を考慮して、工程の区切りごとに支払うなどの場合もあり、こういった支払方法・条件はあらかじめRFP（Request For Proposal：提案依頼書）で提示し、契約書に記載する。
- エ．準委任契約では、業務の受託者が注意義務を怠り、履行遅滞・不完全履行・履行不能などに至る場合は、受託者に過失があるとみなされるため、受託者の注意義務を契約書に記載する。
- オ．作成されたプログラムの著作権は開発の受託者に原始的に帰属するため、受託者に著作権がそのまま帰属する場合は、契約書に明記する必要はないが、委託者に著作権を移転する場合は、受託者から委託者に移転することを明記する。

問題36 企業において作成するR F I、R F P、R F Qに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．R F P、R F Qを発行するためには、調達する対象や仕様が具体化され明確になっていること、そして評価基準が決まっていることが前提となる。
- イ．提案内容をベースに調達するときは、調達の候補先にR F Pを発行し、提案書の提出を依頼する。価格をベースに調達する場合には、候補先にR F Qを発行し、見積書の提出を依頼する。
- ウ．調達計画書の調達方式に従い、調達依頼先の候補にR F PあるいはR F Qを発行する前に、R F Iを通じて依頼先の候補を選出することは有効な手段である。
- エ．想定する予算規模が厳しいシステム開発や費用の削減を目的とした調達の案件に対しては、発行するR F P、R F Qに予算についての情報を記載する。
- オ．製品やソリューションの技術情報や今後の動向、先行事例や成功事例の情報を収集するときは、R F Iを作成し、メーカーやベンダーに送る前に、まず調査会社や業界団体等にする。

問題37 以下の＜事例＞において、資材所要量計画（MRP＝Material Requirements Planning）の考え方から製品Hを150個出荷するのに必要な材料bの正味所要量として適切なものは、次のうちどれか。

ただし、文面に記載されていない仕掛残等はないものとする。

＜事例＞

製品1個を生産するのに必要な構成部品数は下記（1）部品表のとおりである。

（1）部品表

品名	構成部品		
	a	b	c
H	3	2	
a		1	2

各製品、部品の在庫数は下記（2）在庫表のとおりである。

（2）在庫表

品名	在庫量
H	50
a	50
b	150
c	200

- ア. 250
- イ. 300
- ウ. 400
- エ. 450
- オ. 500

問題38 インターネットを活用した金融サービスに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ファームバンキングにおける顧客企業側のメリットとして、金融機関の訪問や郵便などでの問合せがなくなるため、回収及び支払事務の効率化が図れるだけでなく、資金管理に携わる工数も削減できる。
- イ．法人向けのインターネットバンキングは、企業がインターネットを介してパソコン（Webブラウザ）で利用する金融機関の取引サービスであり、ファームバンキングと異なりWebブラウザを用いて専用のアプリケーションの利用を前提としない。
- ウ．ファームバンキングは、個別の金融機関が提供するサービスであるが、同様のサービスを提供する複数の金融機関が運用を共同化するために、共同センターを設立し運用している事例がある。
- エ．金融機関のコンピュータと法人顧客の専用端末、パソコンなどを通信回線で結び、データの送受信を行うサービスとインターネットを利用する個人向けサービスを含めた総称をファームバンキングと呼ぶ。
- オ．Webファームバンキング（WEB FB）は、企業がインターネット回線を利用することでより手軽に利用できるようになった金融機関の取引サービスであり、特に大量の振込や振替を効率的に処理するために開発されたサービスである。

問題39 生産、マーケティング、物流などのプライマリー部門におけるパッケージソフトの選定と活用のポイントとして不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．対象顧客が、継続的な取引がある法人企業中心でなく、一見的な個人顧客中心である場合、業務機能に大きな差はないので、B to B型パッケージを選択する。
- イ．IoTを導入し生産の高度化と生産性向上を実現させるため、より詳細な管理が可能な製造実行システム（MES：Manufacturing Execution System）の導入を検討する。
- ウ．販売形態の違いによって、パッケージソフト選択の考えが異なるので、その点を考慮し自社に最適なパッケージソフトを選択する。
- エ．生産販売部門での取引先との密なデータ交換やマーケティング部門での不特定なデータ収集と分析のため、Webとの連携が可能なパッケージを選択する。
- オ．物流現場では、モノの状態に応じた細かな管理が求められるようになり、その対応をスムーズにするため、基幹システムの在庫管理と同期した倉庫管理システム（WMS：Warehouse Management System）の導入を検討する。

問題40 令和5年版情報通信白書をベースに、膨大な情報やデータが流通しているインターネット上で起きている状況に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. プロバイダー（接続事業者）が提供するコミュニティサイトに起因する犯罪被害を予防するフィルタリングソフトは、ウイルスの侵入からパソコン・スマホなどを守るウイルス対策ソフトのひとつである。
- イ. プラットフォーム事業者は、コンテンツのレコメンデーションやターゲティング広告等利用者が関心を持ちそうな情報を優先的に配信するため、情報サイトの閲覧履歴など収集したデータを組み合わせて分析（プロファイリング）している。
- ウ. インターネットなど情報通信ネットワークを利用している企業における情報セキュリティ対策として、法律によって「アクセス管理者」の設置が義務づけられているが、適切な防御措置を取っていない場合、罰則が適用されることもある。
- エ. 総務省が2022年3月に実施した調査では、偽情報を見たメディア・サービスについては、「ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）」、「テレビ」、「ポータルサイトやソーシャルメディアによるニュース配信」の順に高くなっている。
- オ. SNS等で、自分と似た興味関心を持つユーザーが集まる場でコミュニケーションをする結果、自分が発信した意見に似た意見が返ってきて、特定の意見や思想が増幅していく状態は「フィルターバブル」と呼ばれる。